

# 福竜丸だより

都立・第五福竜丸展示館ニュース



発行  
(財)第五福竜丸平和協会  
連絡所 〒136-0081 東京都江東区  
夢の島3-2  
都立第五福竜丸展示館内  
電話 03-3521-8494

## 八月のヒロシマ・ナガサキへ

### 国民平和行進が 展示館前をスタート

五月六日、八月の広島へむけて  
原水爆禁止二〇〇二年国民平和大  
行進が展示館前から出発しました  
(日本原水協など実行委員会。出  
発に先立つ集会には、約六〇〇人  
が参加、被爆者の訴えや各界代表  
によるピーストークなどがおこな  
われ、平和協会から川崎昭一郎会  
長が挨拶しました。行進団は、沖  
縄の伝統芸能のエイサーの威勢の  
良い演奏に送り出されてスタート  
しました。



### 東都生協も平和のつどい

五月七日にスタートする生協の  
ピースリレーに先立ち、東都生協  
や和歌山、大阪の生協のメンバー  
が展示館を見学、ピースリレー  
の成功を誓いあいました。  
平和協会から川崎会長が激励の  
言葉を述べました。

### 修学旅行生からのメッセージ

私達は、今まで道徳で第五福竜  
丸について学習しました。この話  
は、みんなすごく興味をもちまし  
た。



4、5月学生の団体訪問学校は143校

水爆、原爆はとてもこわくて放  
射能をあげた多くの人々、魚など  
でも、たくさんの被害をうけまし  
た。故郷をうしなした人もたくさ  
んいました。今も、苦しさは全く  
消えたわけではありません。  
でも、多くの国はまだ核をもっ  
ています。実験でいつ被害がでる  
かわかりません。世界では今も、  
紛争や戦争がつづいていますが、  
もう戦争も実験もしてほしくあり  
ません。戦争をなくすために、平  
和を願う誓いを込めて、千羽鶴を  
つくりました。(和歌山県潮岬中学  
3年)

### (2めんよりつづく)

大きな島に人影は無く、自然の  
美しさだけが目につきました。椰  
子の葉が他の島より黄色く、立ち  
枯れも目立ちました。よく見ると  
椰子特有の長い葉がちぢれたり幹  
が曲ったりしたものもあります。  
そんな中の一つだけ綺麗に化粧さ  
れた教会がありました。  
道を隔てたすぐ海側に、白い柵  
で囲まれた墓地がありました。訪  
れる人の無い墓には草が覆いかぶ  
され哀れを誘います。そこにアメ  
リカが水爆犠牲者第一号と認めた  
レコジ・アンジャインが眠ってい  
ます。彼は当時村長だったジョ  
ン・アンジャインの息子で、一歳  
で被ばくし、一九歳で急性骨髄白  
血病で米本土の病院で亡くなって  
いま彼の墓には立派なプレートに  
名前と記録が記されていました  
が、周りの同じ被ばく者と思われ  
るのに名前も書かれていません。  
私は第五福竜丸の乗組員のこと  
が浮かびました。レコジは久保山  
さんかもしれない。しかし、他の  
者たちも犠牲者です。名も知らな  
いすべてのお墓に頭を下げて冥福  
を祈りました。(次号へつづく)

## 「命ど宝」のおもいをこめて

### ―復帰三〇年目の沖縄から―

芳 澤 弘 明

四月二日、名護市に於いて衆議院憲  
法調査会沖縄公聴会が開かれ、傍聴者と  
して発言の機会を得ました。そこで私  
は、あらかじめ調査会に提出した陳述人  
応募の主張にそって述べました。  
「新憲法制定の国会に沖縄代表は参加  
しなかったが、この憲法は県民の意志を  
一二分に汲んでいます。過酷な米軍統治  
下にあった県民は、日本国憲法の下に入  
ることも目標の一つとして壮大な祖国復  
帰闘争を続け、復帰をかち取りました。  
その三〇年目に私は県民の立場から憲法  
改正に反対です。

第一に、憲法は第二次世界大戦の尊い  
犠牲と反省に基づいて制定されました。  
『戦争をしてどんな利益があったでしょ  
うか。何もありませんおそろしい、かな  
しいことが、たくさんおこっただけでは  
ありませんか。戦争は人間をほろぼすこ  
とです』と文部省の『あたらしい憲法の  
はなし』は明記しています。悲惨な沖縄  
戦を体験した県民は『命ど宝』(ぬち  
どうたから)を胸に刻みました。  
沖縄は、朝鮮戦争、ベトナム戦争、湾  
岸戦争の基地となり、いまアフガン攻撃

の足場とされています。基地の存在を許  
すこと自体が戦争への負担であり共犯者  
となるのです。日本を戦争をしない国か  
ら戦争をする国に変えるための憲法改正  
には反対です。  
それは有事法制と周辺事態憲法によ  
り、アメリカが強行する戦争に日本をま  
きこみ、国民を戦争にかりたてるもので  
明らかに憲法違反です。それを合憲とす  
る憲法改正には反対です」と……。

沖縄県民は、「核も基地もない平和で  
豊かな沖縄を」とねがって復帰を実現さ  
せました。しかし、三〇年目の現実はその  
れにはほど遠いものです。

元京都産業大学教授の若泉敬氏が著書  
で明らかにしたように、沖縄返還後も有  
事の際には核兵器の緊急搬入を認める秘  
密合意がなされていたというのです。そ  
れは最近開示された日米首脳会談記録に  
よってさらに裏付けされています。

米軍犯罪と事故は多発しています。  
日本全国の米軍基地の専用施設の七五  
%が依然として沖縄に集中しています。  
米兵の犯罪は復帰の年から二〇〇〇年ま

で五〇〇六件(検挙総件数)に及び、  
検挙人数は四八六六人にのぼり、そのう  
ち凶悪犯罪は五二七件、六七〇人となっ  
ています。

米軍関連の事故も数えきれませんが、  
最近では、四月二六日に米空母搭載のC  
2輸送機が離陸後に燃料漏れのため、嘉  
手納基地に緊急着陸するという事故が発  
生しています。これは四月に入って四度  
目、じつに週一回の割合です。これら  
は、照明弾や燃料補助タンク、風防ガラ  
スの落下、大量の燃料漏れなど一歩間違  
えば大惨事につながる事故でした。

とくに今回の事故では、「臭いがし  
た」「目が痛かった」「ハレー彗星のよ  
うに燃料が吹き出し、帯の長さは機体の  
七倍もあった」などの目撃証言も……。事  
故機の航空燃料についての米軍発表と報  
道などの状況を勘案すると、漏れた燃料  
の量は大型消防車が一〇分前後放水した  
量に匹敵するといわれます。まさに事故  
原因が明らかにされないうちに次の事故  
が起ころうというありさまです。

復帰三〇年を迎える沖縄から、私は、  
アジア・太平洋の人びととの信頼をつく  
りあげ、手をたずさえて前進したいと願  
います。「命ど宝」この心は沖縄だけの  
ものであってはならない。それが私のお  
もいです。(元沖縄県弁護士会副会長／  
日本国際法律人協会副会長)

### 被ばく者として マーシャルを 訪ねて(第2回) 大石又七

#### ウッドリック環礁の被ばく者の話し

ジョウソウル村長とナオミ、オオクボ、ヤマムラ・カナメの息子さんから話を聞くことができました。日本名が多く、日本人の血を引いている人も多いという事です。彼らの話より……

被ばく当時一五七人おりましたが現在は五〇人が残っています。爆発の音がして戦争が始まったと聞かれました。まぶしい光が空いっぱい広がったのを見たが灰の記憶はありません。一歳の子供は火傷のようになって死にました。

クワジエリンへ非難する時着ている物など全て島においていけといわれました。クワジエリ

ンでは仮託住宅に住み、その後も実験が行われ、外にでるなといわれました。ウッドリックに戻ってから髪の毛が抜け、甲状腺が悪くなりました。

私は一〇歳だった。海岸で遊んでいてものすごい音で地面が揺れ、空が赤くなり、火の玉を太陽だと思いました。小麦粉のようなチョット赤みがかった白い粉が降ってきたことを覚えていました。

私は六人の子どもがいました。三人亡くなり、残った一人は成長障害で歩けません。一七歳ですが知的障害もあり、甲状腺の薬も飲んでいません。アメリカは検査していますが、そのデータは発表されていません。

当時ウッドリックに戻った時にアメリカ兵が先に降りて私たちの飼っていた犬や豚などを全部殺した。数か月後にアメリカが鶏や豚を持ってきたが、しばらくすると豚の皮膚に水ぶくれのようなものができおかしくなりました。

私たちは専門家を雇い放射能の汚染などの調査をしてきました。それをまもなく裁判所に出し、六月には公聴会が開かれると思います。

#### 被ばくと認められていない ウジエラン島民と交流

アメリカに「被ばく」を認めるよう交渉を続けているメーナルド・アルフレットを上院議員を始め八名の島民と会いました。その話から……

私たちはアイルック環礁は、アメリカとの自由連合協定でも除外されてきました。しかし、このほどマーシャル政府がアメリカに出した要請資料にアイルックのことが触れられています。科学者を雇い調査したところでは、土壌からヨウ素が出て、またセシウムの数値も確認しているところです。

当時島には四〇二人が住んでいました。ヤルルトなどでは食物が育たなくなり、自給自足ができなくなり、外から物が入ってくるようになっていきます。そのためマジエロやイバイに移住した人もいます。

私は灰が降ってきたのを見ました。奇形児の出産や甲状腺、ガンもでてきます。爆風で椰子のてっぺんから落ちた人もいます。報告書によると、アイルックの人

たちも避難させることになっていますが、しませんでした。アイルックの人たちは、病気が起こるといふことは、島が汚染されているからだ、と主張していました。

#### ロンゲラップ島へ

被ばく当時、ロンゲラップとアイルングナエには八六人の島民がいました。五〇時間後にクワジエリンに運ばれ、検査、隔離されました。すでに火傷や髪の毛が抜ける症状が出ていたそうです。

ロンゲラップ環礁は六〇の島々からなり、現在一部でアメリカによる汚染土壌の入れ替え作業が行われていますが、島民はまだ一人も帰っていません。

ロンゲラップへは飛行機便の関係で滞在はわずか二時間というものでしたが、この島はマーシャルの中で一番美しい島ではないだろうか、私はそう思いました。椰子の木陰をとおして望む内海は日本には無い色です。この島は、第五福竜丸が被ばくした位置より少し南になりますが、ビキニ環礁までの距離はほぼ同じです。  
(4めん下につづく)

### 第五福竜丸の ボランティア活動 一年 遠藤昌樹

第五福竜丸展示館でのボランティアガイドは、昨年一月から活動を始め、会の発足は四月、丁度一年が経過するなかで、案内のメンバーは五人、資料整理や収集にあたるメンバーが四人の九人になっています。

ガイドボランティアは、館内の受け付けにて、来館者からの質問に答えたり、調べたいことの相談に乗ったり、書籍やDVDなどの販売や貸し出しを行っています。なんと一つも一番おおきいのは修学旅行や社会科見学や総合学習や遠足などの小中学生、高校生への「展示館からのお話」です。これは昨年、四二〇校あまりが訪れています。さらに、老人クラブや趣味の会、生協や労働組合、先日はバスガイドさんの研修も三社あ

りました。

ボランティアのメンバーには退職教員が多いので、十五〜二〇分の授業をするつもりで話をします。そのおもな筋立ては、①福竜丸の歩んだ道と時代背景、事件の被害と久保山さんの死、②マグロと延縄漁について、③マーシャルの人々の被害、④世界の核実験被害、⑤いまの核兵器や核実験とどうやって平和な世界をつくるか、などです。

生徒たちは、私たちの説明にうなずいてくれたり、よくわかりましたといってくれたり、実物大マグロイラスト(2・5メートル)にオーと驚いてくれたり、さまざまなお話もよせてくれ、とても嬉しくなります。

\*

また、福竜丸被災に関する展示館の資料、乗組員へのお見舞いの手紙や新聞のファイル作成、展示物の更新の手伝いなどもおこなっています。昨年にはマグロの説明パネルを作成し(美術の先生の武藤さんがイラストを描いた)、とても福竜丸が身近になりました。学習も行なっています。平和協会の川崎会長による「核の現

状」、「放射線の話」、藤田副会長による「平和教育・平和博物館について」、ボランティア・メンバーの市田さんの「ビキニ事件と漁業、魚肉ソーセージよビキニ事件」の研究発表は目を開かされました。

焼津への研修旅行では、元漁労長の見崎吉男さんの生々しい体験談を聞くことができました。

九月には江東区の社会福祉協議会にボランティア団体として登録が認められました。この夏には子どもたちを対象にした体験学習なども企画し、さらにメンバーのとりくみをつづけていきたいと思っています。(会世話人)

#### ボランティアの会と私 大幡嘉子

昨年の夏前ごろ、私たち夜間中学OBが行なっている勉強会の皆と福竜丸展示館の見学に来ました。

しっかりと立ちながら、息もたえだえの福竜丸はショックでもあり、強く引きつけられるものでもありました。

私は、夜間中学校で二九年間教員をしていましたが、平和運動に

も福竜丸の保存にも全く関っていません。夜間中学は義務教育未修了の方たちが学ぶ所で、戦争の被害者も多く、一緒に見学した方の夫は朝鮮から強制連行された人です。しかし、私は在職中「平和教育」を特にしませんでした。

展示館はそんな私に、何かここで出来ることはないだろうかと思わせる所でした。久保山愛吉さんの碑のそばのバラがここ数年花が咲かないと伺ったとき、あ、バラの手入れをさせてほしいな、と思いました。

いまは毎週一日、館内のガイドもやらせてもらっています。知識がないので、本をたくさん読みました。

小中学生に話す時、本物、実物が子ども達の心を揺り動かしていることを実感します。ビキニでの出来事が歴史や世界を認識する手掛かりになるようにと願い、私の小さな力がお役に立つことを嬉しく思います。

